

「八ッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

平成 23 年 11 月 8 日（火）14:40～15:40

さいたま新都心合同庁舎検査棟

発言者：意見発表者 30

さいたま市に住んでいます●●と申します。こうやって、八ッ場ダムについて意見を述べることができるような機会を設定していただきましてありがとうございます。ただ、言っておきたいのは、住民から意見聴取を行う日程を突然 10 月 20 日に発表し 29 日までに申し込むという、あまりに突然なスケジュールに何故したのかということです。住民からの意見を参考にしようという姿勢ならば、もっと日程やその内容の趣旨を住民に周知徹底させてから行うべきです。今後はこのようなことに配慮して頂きたいということをまず要望させていただきます。このような短い期間の募集だったため、400 字の意見の概要が、中途半端にしか書けず、ほんのさわりの部分だけになってしまいましたが、私はとにかく八ッ場ダムの建設というのは現地の人たちの利益を考えなければならないと思います。現地の人たちの利益というのは、言うまでもありませんが、国交省の方々の利益だとか、土建屋さんの利益だとか、族議員の利益などというものではないことは一応確認しておきたいと思います。現地住民の利益と言うことを考えた時、人にとって最も大切なのは命です。八ッ場ダムの建設予定地は、非常に脆弱な地盤の地すべり地帯です。今回の報告書では、地すべり対策の必要性の点検の概要の中で、現計画で見込んでいる地域と、指針に基づく点検の結果追加された地区と合わせて 11 箇所を指定しています。確か、国交省が以前発表した地すべりの留意すべき場所は、22 箇所だったと思いますが、対策を行う地区がそれまでの 22 箇所中確か 3 箇所だったところが、11 箇所必要と言うことになったのでしょうか、このことからこの地域が地盤の脆弱な地すべり地帯であるということを表していると思います。この概要の中では、現時点で考えられる最大限の地すべり等の範囲を想定したとありますが、この 11 箇所の対策工を行えば、絶対に安心ということはいえないと思います。原発事故でもわかるように、絶対に事故は起こらないなどということはありません。そう考えた時、現地住民を守るためには、やはり八ッ場ダムの建設は行うべきではありません。私が初めて八ッ場ダム建設予定地とその周辺の見学に行ったのは、今からだいたい 7 年前ぐらいだったと思います。その時一番驚いたのは、上流で行われていた中和作業です。草津中和工場では、毎日 60 トンの石灰が流されており今も続けられています。その中和作業のことは、報告書の中でも吾妻川の歴史のところなどで、少し触れているみたいですが、1952 年旧建設省が八ッ場ダムの建設計画を掲げましたが、吾妻川の水はコンクリートを溶かすほどの強酸性であることが確認され、そのことを取り上げた地元住民の猛反対により、翌年建設計画は一次中断しました。しかし 63 年、上流に大量の石灰を投入して中和するための中和工場を完成させ、65 年には、石灰の生成物を溜めるための品木ダムを完成させ、再び八ッ場ダム建設を浮上させたという歴史があります。八ッ場ダムは、上流に石灰を流入しないと、建設することができないという特殊なダムなのです。私はこの石灰投入については、究極の自然破壊であり、税金の無駄遣いだと思っています。年間 10 億円かかるという話だったと思います。本来、自然環境というものは、人間の手など入れずにバランスを保っています。そこに人間が中途半端に介入すると、どこかにひずみができて、バランスを崩してしまうのではないのでしょうか。石灰の生成物を溜めるための品木ダムでは、生成物と土砂からなる汚泥を浚渫し、脱水し、流域内の周辺山林を借り受けた処分場に埋めていますが、堆砂率は既に 8 割を超えようとしているようです。しかし、この汚泥の問題は、ただ単に品木ダムが満杯になってしまうというのではなく、

そこに、ヒ素が含まれていることがわかり、より一層問題が深刻化していきました。このヒ素は上流の鉱山跡などから流れてきているようですが、国交省のダム湖底の汚泥の分析では、2004年時点で、1キロあたり最大5.6グラムのヒ素が含まれており、農地でも土壤環境基準の370倍以上とのこと。この品木ダムの湖底の地質調査については、国交省が隠蔽していたということを現在世田谷区長の保坂展人さんが明らかにしております。ヒ素入りの汚泥は、本来、産業廃棄物として、遮水シートや侵出水処理設備のある管理型で処理しなければならないところ、素堀の処分場で埋められているという問題などもある上、汚泥にはヒ素が含まれているため、流域外での処分が困難で、処分場の用地確保も難しくなっているのです。捨て場のないこのヒ素入りの汚泥をどうするのか。これはまるで放射能の問題と同じような問題に思えてなりません。この問題に対して、もし八ッ場ダムが建設された場合、半永久的に石灰を流入しなければならない状況になり、ヒ素入り汚泥が半永久的に溜まっていく状況になります。解決が不可能なくらい困難な状況になってしまうのではないのでしょうか。この問題から見ても、早急に八ッ場ダムは、建設しないということを決めるべきです。石灰流入そして、ヒ素入り汚泥の問題を解決することが現地の人たちにとって最良の選択になると思っております。短いですが以上です。

以上